



STYLE

大阪大学と卒業生をつなぐ広報誌



卒業生インタビュー

大阪ガス財務部 江坂 保幸さん
(2007年工学研究科、2008年経済学研究科修士)

NHK放送局ディレクター 小堂 光梨さん
(2020年文学部卒業)

在学生も元気です！

将棋部・弓道部・男子バスケ部・軽音楽部「SWING」

阪大ニュースフラッシュ／同窓会ニュース
25年万博推進委が活動／欧州同窓会・北米同窓会を開催 等

世界中どこからでもつながっています！
「大阪大学ホームカミングデイ2021
～大阪大学の集い@オンライン～」

プチコラム

学生生活の楽しみの一つ、まちかね祭を振り返る

Vol. 6
2022 MARCH



記事の詳細
ぜひご覧ください

在学生も元気です！

卒業生向けメールマガジン「OUMail News」に掲載の在学生も元気です！記事を抜粋しました。

弓道部

美しく静かな武道



凛々しい道着姿で的に向かう弓道は、「最も礼を重んじる武道」「最も美しく静かな武道」とも言われています。大阪大学の弓道部は、1935年に完成した旧制浪速高等学校弓道場にルーツを持ちます。

豊中キャンパス学生会館の坂を上がった歴史ある「知静堂」に続き、吹田キャンパスの体育館南側にも83年、新しい弓道場「志在館」が完成し、部員は平日の授業や研究の合間ほぼ毎日、どちらかの道場で自主練に励みます。

大学で弓道を始める初心者が多いですが、努力さえ重ねれば必ず上達でき、2級、1級、そして1年生で初段を取る部員もいます。

※メールマガジン2021年8月号掲載

将棋部

棋力向上と情報収集



関西地区から全国大会への出場枠「2」の熾烈な激戦を毎年闘っている将棋部は、個人の技術力アップとともに、ライバル大学に対する「情報収集・分析」にも力を入れて、地区大会から総合力で盤に對し

ます。一方、「初心者歓迎」でアマ5〜6段くらいまでの幅広い層が集まり、この数年は女性部員も増えています。

練習は授業の空きコマや放課後。部室で自由に指すほか、A〜D級の4クラスに分かれ、プロの順位戦のような形式で対局します。

先輩にも恵まれます。プロ棋士・糸谷哲郎八段は、大学院文学研究科在籍時に竜王位を奪取しています。

※メールマガジン2021年4月号掲載

男子バスケット部

厳しくも魅力いっぱい



男子バスケットボール部は、土日も含めて厳しい練習をこなします。月曜、木曜以外はみっちり1日3時間。さらに個人でシュート練習する部員も多数います。始終ぶつかり合う激しいスポーツで、つき

指や捻挫はけがのうちにも入ります。でもそれに耐えられるのは、バスケの魅力に魅せられているからです。

チームプレイ色が強く、ポジションも明確に分かれていないので、他競技以上に助け合い、コミュニケーションが欠かせません。シュートを決める達成感は最高です。複雑なプレイが絡み合い、個性を複合できます。庶務を支えるマネジャーも不可欠な存在です。

※メールマガジン2021年9月号掲載

軽音楽部『SWING』

壮大なハーモニー



1〜2年生が主体となって軽快な音楽を響き渡らせる軽音楽部「SWING」。コロナ禍でも念入りな感染防止対策を講じながら、合奏練習もこなしてきました。中学・高校から吹奏楽部でならした部員

が多い一方で、大学に来て初めて楽器を手にする学生も結構いるそうです。

週1回はパートごと、そして週2回はビッグバンドによる合奏練習。感染防止策として、休憩時間に大扇風機も使い、十分な換気作業を行います。代表のほか、コンサートマスター、バンドマスター、準備を担う内務などが一体となって「ハーモニー」を奏でます。

※メールマガジン2021年11月号掲載

卒業生インタビュー



記事の詳細
ぜひご覧ください

卒業生向けメールマガジン「OUMail News」に掲載の卒業生インタビュー記事を抜粋しました。

技術、経済双方から学び、アカペラも

江坂 保幸さん Ⅱ2007年工学修士、2008年経営学修士

工学、経済学研究科双方の修士課程を修め、アカペラのサークル活動でも音楽はもとより話術も磨いた江坂保幸

「写真左」さんは、大阪ガス株式会社において社内プロジェクトの可否に厳しい目を光らせる業務に携わっています。

二つの修士号を修めながら「大学ではほぼアカペラしかしていません」と謙遜。アカペラサークル「Inspiritual voices」で当初、「うまくハマれていないのは、他のメンバーのせい」と思い込んでいたら、先輩から「江坂の音程が低くずれているから」と指摘され、大いに落ち込んだことも。でも後には、「関西アカペラジャンボリー」で、アマチュアのトリを務めました。さらに、「下手なりにMC（曲と曲の間のトーク）を務めているうちに、3年生のあるステージで

『あつ、これだ』と殻を破れたと感じました」

大阪ガスで現在は、財務部投資評価室副課長として、ガスの権益取得や発電所開発などの投資案件に対して、第三者的立ち位置から評価する役目を担っています。ある意味で、いやがられる役柄となりますが「躊躇せず物を言います。それが会社や社会のためになるなら、ひるんではいけません」と、優しい口調で語ります。

※メールマガジン2021年2月号掲載



応援団長も務めたNHKディレクター

小堂 光梨さん Ⅱ2020年3月文学部卒業

NHK放送局に20年入局した小堂光梨さんは、初めての地の名古屋放送局でディレクターとして、幅広い番組制作にかかわっています。学生時代に専攻した日本学研究と、応援団での活動が、「財産となっている」と言います。

教授の指導のもと「家族」の切り口として「里親制度」を選びました。血のつながりにこだわっていた小堂さんにある里親が「そのことが重要ですか？」と切り返してききました。もっと深い背景から親と子の関係、問題を見つめなければならなかったのです。

応援団はリーダー部、吹奏部、チアリーダー部で構成。吹奏部を兼任していた当時は、吹奏演奏したあと、パンツスーツ姿でエールを切る掛け持ちもこなし、団長にも就任しました。部室に届いた「熱い応援に心を打たれ、筆をとりました」とのはがきに、大きな勇気をもたらしました。

さて今は、5分間のリポートに1〜2か月も費やししながら、密度の濃い番組作りに追われています。これまで、介護現場、病院内ラジオ、在日ミャンマー人グループなどを取材・報道してきました。将来、学生時代からこだわっていた「家族」をテーマとしたドキュメンタリーを制作したい夢を持っています。

※メールマガジン2021年5月号掲載



箕面新キャンパス開校を記念 「国際フェス」地元市民も盛況

2021年4月の箕面新キャンパス開校と箕面船場の新しいまちびらきを記念して、「箕面国際フェスティバル」が同年10月2、3日に開催され、学生はもとより、多くの地元市民の方々などにぎわいました。

学内のさまざまなサークルなどが、屋内外のブースで日ごろの活動や学習・練習成果を披露。「民族衣装コレクション」、海外旅行気分を味わう「はじめてのおつかい」、「世界の写真展」、「リレー講義」、「世界の食べ物・飲み物コーナー」など多彩なイベント、催しが展開され、盆踊りも盛況でした。初日に3階ステージで行われたオープニングセレモニーでは、チャリダーなどの



盛り上がったオープニングセレモニー

応援団がフェスティバルへのエールを送って、演舞を披露。アフリカダンスやフラメンコなども舞台を彩りました。西尾章治郎総長も、開会



学生運営事務局をねぎらう西尾総長（左端）



民族衣装を着て学生と記念撮影した西尾総長（左）

挨拶で「世界の研究者、学生、地域住民の交流の場になってほしい」と述べたのち、各ブースを巡って、民族衣装などを身に付けたり、学生運営事務局をねぎらったりしていました。また、このイベントが箕面、吹田、豊中の各キャンパスの学生が全学として取り組んでいることにも感銘を受けていました。

フェスティバルのテーマは「世界旅行」、キャッチフレーズは「ようこそ、箕面船場国際空港へ」。箕面キャンパスが、世界とつながる玄関口になることを目指しました。学生運営事務局の大谷真寛事務局長は「大学にもさまざまな『世界』があります。地域にもさまざまな『世界』があります。国際フェスティバルが皆様にとって、様々な価値観を知るきっかけ『世界旅行』となりますように」と述べています。

日本財団との連携による 感染症対策大型プロジェクト始動！

新型コロナウイルス感染症は、日本が抱える様々な課題を浮き彫りにしました。大阪大学はこれらを教訓に、次なる感染症の流行に備えるため、「感染症総合教育研究拠点（CIDER）」を2021年4月に設置しました。

本拠点は、日本財団との「感染症対策プロジェクト」として、①科学的エビデンスに基づく総合的な情報発信、②予防、診断、治療法等の総合的な研究、③医療従事者への最新技術・知識の教育訓練、感染症対策リーダーの育成に取り組んでいます。また、感染症研究を進める「場」としての研究棟を、世界的建築家・安藤忠雄氏によるコンセプトデザインをもとに建設する予定です。



詳細はこちら

本学で25年万博推進委が活動 パビリオンなどに研究成果

大阪大学は「2025年大阪・関西国際博覧会」に向けて、西尾章治郎総長を委員長とする「2025日本国際博覧会推進委員会」を設置して、さまざまな活動を展開しています。「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマとして開催される2025年に、大学として多角的にかかわれるよう、委員会のもとに「いのち部会」「先端技術体験部会」「学生部会」「国際部会」を設置し、学内の研究成果や活動内容などをパビリオン、催事などでアピールできるように、2025年日本国際博覧会協会はもとより、自治体、経済団体、企業、他大学などと連携、交流、情報交換を進めています。



詳細はこちら

本学の基本方針として、ビジョン「Contribution to All Lives beyond 2025」を掲げ、①持続可能な開発目標（SDGs）達成への貢献②教育・研究のさらなる発展③本学のプレゼンスの向上を目指します。さらに、その後の博覧会協会公認のソフトウェアレガシーとなるような「いのち宣言・いのち会議」を、本学が中心となって展開していきます。

博覧会協会は、「TEAM EXPO」プログ

ラムを進めていて、そのうちの「共創パートナー」には、本学から「大阪大学」「産業科学研究所」「社会ソリューションイニシアティブ（SSI）」が登録しています。この3者が緊密に連携しながら、学内のさまざまな研究シーズなどを「共創チャレンジ」として支援しています。

大阪湾に埋め立て中の夢洲が会場となりますが、本学のキャンパスも舞台となって、開幕前から広く展開できる「阪大万博」（仮称）も企画しています。

世界に誇れる数々の研究には、注目が集まる一方、時代を担う学生たちが積極的万博の主役になろうとしている活動には、協会からも「他大学を巻き込んだ中核となっ

学生活動支援に未来基金

その阪大生の団体「a-tune」は、万博会場で世界中の学生と音楽の国際交流イベント「eSymphony」実現をめざし活動しています。本番では世界100か国の学生がオンラインで集うことを目指し、SDGsにも貢献します。

また、本学では万博に向けて「次代を担う若者や学生の参画」をミッションの一つに掲げて活動。そのために設立した未来基金に、OB/OGの皆様のご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

2022年4月1日に 大学院人文科学研究科を新設！

大阪大学は、文学研究科と言語文化研究科を統合し、5つの専攻（人文学、言語文化学、外国学、日本学、芸術学）から成る「人文科学研究科」を新設します。各専攻の特色あるプログラムに加え、専攻を超えて人文学の研究、教育を十分に活性化させるため、新たに「人文学林」を立ち上げます。思想・歴史・文学・言語文化・社会・芸術など多領域にわたり横断的な学びの場を提供し、国際的な相互理解を推進する研究者・高度専門職業人を育成します。

2025年オープン予定！

大阪大学医学部附属病院再開発

医学部附属病院では、日本の医療・医学発展の拠点病院として高度先進医療を提供し、将来の医療環境の変化にも柔軟に対応できる病院を目指して再開発計画を進めています。「Futureability 待ち遠しくなる未来へ」をコンセプトに、垣根を超えた横断化医療、徹底した個別化・専門化医療のもと、世界をリードする高度医療の推進やアカデミアの結集と産学共創による橋渡し研究、臨床研究の世界的拠点化を推進します。

トを活かし、世界中で活躍されている卒業生をはじめ、多くの方々にご参加いただき、盛況のうちを終了しました。



各イベントとも、オンラインのメリットを活かし、世界中で活躍されている卒業生をはじめ、多くの方々にご参加いただき、盛況のうちを終了しました。

欧州同窓会・北米同窓会 オンラインイベントを開催

2021年6月26日に「欧州同窓会オンライン交流会 2021夏」を開催し、イタリア在住の本学卒業生、切手崇博さんより新型コロナウイルス感染症拡大後のヨーロッパ社会の変化についてお話いただきました。



「大阪大学同窓会連合会」のご案内

大阪大学同窓会連合会は、各学部や研究科ごとに組織される同窓会をはじめ、各種同窓会の発展に寄与するとともに、同窓会相互の交流、連携を推進することにより、卒業生等の交流、親睦を図り、併せて大阪大学との連絡を緊密にし、広く社会に貢献することを目的に、平成17年7月25日に設立されました。総合大学のメリットを最大限に活かした「オール阪大」としての人的ネットワークの構築を進め、大学と社会

との連携を強化し、大阪大学の一層の発展と全同窓生の社会での活躍に資するために次の活動を行います。

- ① 部局同窓会相互の交流、連携の推進
- ② 新たな地域同窓会及び職域同窓会などの各種同窓会設立の支援
- ③ 卒業生等と大阪大学との連携の促進
- ④ その他、本会の目的に沿った事業活動



詳細はこちら

学生生活の楽しみの一つ、まちかね祭を振り返る



学生時代の思い出の1つに、学祭を挙げられる方も多いのではないのでしょうか。大阪大学の学祭といえば、毎年11月に開催されるまちかね祭です。1960年まで行われていた「体育文化祭」が「大学祭」に改められ、1996年、公募により「まちかね祭」と名づけられました。

ここで、13年前、2009年のまちかね祭を振り返ってみましょう。50回目という節目を迎えたこの年のまちかね祭は、メインストリートを中心に80を超える模擬店や、様々な館内・屋外企画、ステージ企画等大

変な盛り上がりを見せました。当時、学生として出展・出演されていた方もいらっしゃるのではないのでしょうか。3日間に及ぶまちかね祭を締めくくるフィナーレでは、笑いの祭典「O-1グランプリ2009～オオサカオワライ オレガ イチバン～」、「Miss&Mr. 阪大 CONTEST2009」等が行われ、大盛況となりました。

昨年11月には、62回目となるまちかね祭が2年ぶりに開催されました。公募により決定したテーマは「お待ちかね!」。万全のコロナ対策を行ったうえで開催されたまちかね祭では、

バンドのライブや寄席をはじめ、例年どおり様々な企画が行われ、多くの方々にご来場いただきました。今年もまちかね祭で学生たちの元気な姿を見ていただけましたら幸いです。



大阪大学公式
Youtube
チャンネル

今年もオンラインで! 世界中どこからでもつながっています!

「大阪大学ホームカミングデイ2021 ～大阪大学の集い@オンライン～」を開催しました



詳細はこちら

2021年11月7日に「大阪大学ホームカミングデイ2021～大阪大学の集い@オンライン～」を開催しました。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、阪大ファミリーが集うイベント「ホームカミングデイ」と「大阪大学の集い」を一体化し、昨年度に引き続き、オンラインで開催したものです。

西尾総長による「大阪大学の近況報告」、岸本同窓会連合会会長からの

「あいさつ」に加え、「コロナ禍における大阪大学の社会貢献」をテーマに、大阪大学の5人の教員が、感染症総合教育研究拠点のことや、社会経済活動への貢献、新型コロナウイルスに対するワクチン開発、医学部附属病院におけるコロナ対策や、新型コロナウイルスワクチンの大規模接種等について講演した動画を配信しました。また、「各キャンパス食堂巡り」と題した企画では、事前に、各キャンパ

スの食堂における人気メニューへの投票や思い出等を募集し、イベント当日にキャンパスごとの人気メニューのランキング発表を行いました。卒業生の皆様や食堂の方々からいただいた思い出やエピソードも紹介し、ご視聴いただいた方々からは、「懐かしい」「久しぶりに思い出の味を食いたい」「子供と一緒に食べに行きたい」といった感想をたくさんお寄せいただきました。この他、一昨年オープンしたグローバルビレッジや、昨年開校した箕面新キャンパスの紹介動画も配信し、日本のみならず、海外からも多数ご視聴いただくことができました。世界中どこにいても大阪大学を身近に感じていただけたのではないのでしょうか。2022年も、皆様にお楽しみいただけるイベントを企画して参りますので、どうぞお楽しみに!



ノーベル賞クラスと目される研究者に値する栄誉!

岸本忠三元総長及び平野俊夫前総長が 「クラリベイト引用栄誉賞」を受賞!

左:岸本元大阪大学総長
右:平野前大阪大学総長



2021年9月に、「クラリベイト引用栄誉賞」が発表され、岸本忠三元大阪大学総長（大阪大学免疫学フロンティア研究センター特任教授）及び平野俊夫前大阪大学総長が受賞者に選ばれました。

この賞は、クラリベイト社が同社のデータベースをもとに、論文がどの程度引用され、学術界にインパクトを与えたのかななどを考慮し、ノー

ベル賞クラスと目される研究者を選出するもので、ノーベル賞と同じ研究分野（医学・生理学、物理学、化学、経済学）において影響力のある研究者が毎年特定されています。

岸本元総長と平野前総長の受賞分野は「医学・生理学」で、受賞理由は、「インターロイキン-6（IL-6）の発見とその生理的・病理的作用機序の解明により、医薬品の開発に貢

献した功績」です。IL-6は世界中で猛威を振るっている新型コロナウイルス感染症肺炎の重症化に関与していることでも知られています。IL-6を抑えて血管障害因子の産生を抑制することで、新型コロナウイルス感染性肺炎の重症化抑制につながるという、重症化の仕組み解明にもつながっています。

大阪大学カード入会のご案内



大阪大学と大阪外国語大学の卒業生、教職員、元教職員だけが持つことのできる、「大阪大学ファミリー」のための特別な1枚。国内外のVisa加盟店で安全・便利に使えるVisaタッチ決済機能や、全国のコンビニなどでも、スマートフォンで、簡単・スピーディーにお支払いができる電子決済に対応！会員限定のオリジナル特典も多数ご用意しております。また、ご利用金額の一部は大阪大学と大阪外国語大学の学生支援に使われます。母校との絆をつなぎ、これからの生活をサポートするカードとして、ぜひご入会ください。

国立大学法人
大阪大学／
三井住友VISAカード



詳細はこちら

入会のお申込み方法や特典の詳細は大阪大学ホームページからご確認ください。<https://www.osaka-u.ac.jp/sp/oucard/>

マイハンダイアプリ

大阪大学に関わる全ての皆さまを応援する「便利・楽しい・イノベティブ！」な大阪大学オリジナル公式アプリです。卒業生・受験生など学外の方にもお使いいただけます！阪大生のあり・をり・はべり・いまそかりマガジン『まちなねっ！』など、コンテンツが盛りだくさん！無料でお使いいただけるマイハンダイアプリをぜひダウンロードください！



詳細はこちら



阪大「ワニ博士」休み時間の頃

「OUMail」生涯メールアドレス ～メールマガジンも届きます！～

大阪大学・大阪外国語大学を卒業・修了された方に、生涯使えるメールアドレス「XXXX@alumni.osaka-u.ac.jp」を提供しています。マイクロソフト社の正式ライセンスに基づいて発行される、安心安全のアカウントです。このアドレスにはメールマガジン【OUMail News】をはじめ、大阪大学の最新のニュースやイベント案内などの情報をお送りしています。末永くご活用ください。



詳細・申込方法は
こちら

大阪大学創立90周年・大阪外国語大学創立100周年 記念式典及び記念講演

2021年に、大阪大学は創立90周年、大阪外国語大学は創立100周年を迎えました。大阪大学では、「想い つなげる つむぎあう」をスローガンに様々な記念事業を行いました。本年5月1日（日）には、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から延期しておりました記念式典及び記念講演を大阪府立国際会議場（グランキューブ大阪）にて開催いたします。

なお、新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況によっては、開催内容に変更が生じる可能性もあります。

日時：令和4年5月1日（日）
会場：大阪府立国際会議場（グランキューブ大阪）
大阪府大阪市北区中之島5-3-51

各種記念事業



大阪大学は2009年5月から未来基金を設置し、学内外に向けて募金活動を行っております。皆様方の温かいご支援を心よりお願い申し上げます。

未来基金
サイトは
こちらから

